

# どんぐりまつり

## 服部緑地自然を楽しむ会

1. 開催日時 2015年10月18日(日) 10:00~12:30 天候:晴れ
2. テーマ どんぐり拾いをし、ゲームやどんぐり工作を通して、身近な自然に関心を持たせる。
3. スタッフ 6名
4. 参加者 53名(大人23名、小人6名、幼児24名)
5. 観察場所 服部緑地公園内
6. プログラムの流れ

- ① 挨拶、紹介
- ② どんぐりについてのお話(どんぐりって何?)
- ③ どんぐりのなる木やその木になるどんぐりを観察しながらどんぐり拾いをしよう。
- ④ 「どんぐりコロコロ」ゲームをしよう。
- ⑤ 拾ったどんぐりを使って工作をしよう。
- ⑥ 終わりの挨拶、感じたことを書く。



### 7. 観察会を終えて

#### ○どんぐりって何?

どんぐり拾いに行く前に、「これ、どんぐりかな?」「では、これは?」「次のこれは?」…と、殻斗(総苞)のついたクヌギ、アベマキ、コナラ、マテバシイ、アラカシ、スダジイの実を見せた。クヌギ、アベマキまでは、勢いよく「どんぐりー」と言っていた子どもたちの声も、アラカシ、コナラ、マテバシイになってくると声のトーンが下がってくる。スダジイに至っては、「…」。子どもたちのどんぐりに対するイメージは、「丸くて大きい」のようである。そこで、通常、実の形やおわんのようなすが違っても、実の下の方がおわんに包まれているものをまとめてどんぐりと言っていることを補足し、どんぐり拾いに出かけた。

#### ○また、「どんぐりコロコロ」ゲームをしたい。

「どんぐりコロコロ」ゲームは、今回初めての取り組み。模索しながらのプログラムだった。観察会の受付時に子どもを中心に1から順に数字を書いたエントリー券を配った。本番では、エントリー券をもとに1番から順に、1人続けて2回の試技を行ってもらった。そして、より遠くまで転がった方の記録をとった。エントリーは、35番まで続いた。記録上位5人にスタッフの手作り作品を渡した。2回しか試技ができなかったのが、「また、したい。」が、子どもたちの心残りとなった。1位の記録は、3.2メートルだった。どんなどんぐりがよく転がるのかは、まだ、?

#### ○工作は、ワイヤ(針金)を使ったやじろべえが大人気

「どんぐりコロコロ」ゲームの後、すぐにどんぐり工作に入った。いくつかの見本を見せたが、ワイヤを使ったやじろべえが大人気だった。スプリングにしたワイヤをくるくると回りながら落ちて行く様が、子どもたちの心をとらえたのだろう。親子一緒にほほ笑ましく楽しんでいた。

😊今日は、いろいろな種類のどんぐりが、緑地公園にあることがわかり、とてもビックリしました。息子たちも大喜びでした。こういったイベントがあれば、また、参加したいと思いました。(保護者)  
いろいろなドングリが拾えて楽しかった。コロコロゲームが楽しかった。細いのや太いのやなど、どんぐりにはいろいろあることにびっくりした。工作も楽しかった。(子ども)